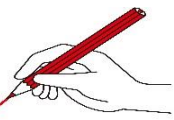


Move Mountains

5年生通信

10月24日73号



○今から自動車を100台作ってください

社会科では、工業の学習：自動車の生産について学習しています。

ここまでで、大きく2つのこと

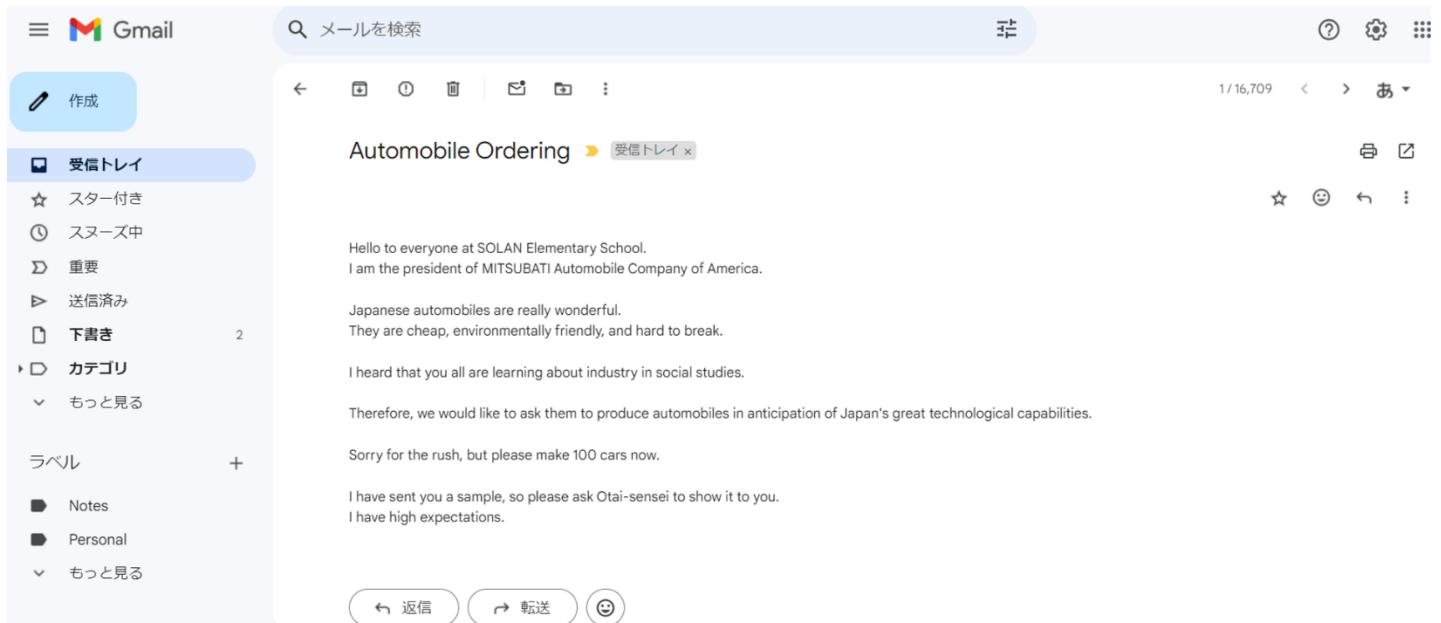
車1台の部品の数はおよそ3万個
年間の生産台数は700万台…1日あたり1万9千台もの自動車を生産している

を学習してきました。

デンソーの自動車メーターの工場見学もオンラインでさせていただき、一つ一つの部品を丁寧に、素早く、そして進化させながら作っていることを学びました。

三菱岡崎工場は、現地で見学させていただき、さらに解像度を上げて理解を深めています。

そんな、学習を進めるみなさんにメールが来ました。



なんと、三菱じゃなくて…MITSUBATI (ミツバチ) 自動車の社長から (らしい) です。

要約すると、日本の自動車は素晴らしい、自動車は工業について学んでいるみんなに期待している。急ぎで申し訳ないが、今から100台生産してほしい。

ということです！

のこり時間は40分。果たして間に合うのか…！

ここからが学習です。いかに効率よく、協力して作っていくか。実際の工業でも同じことが行われているはずですよ。



このチームでは、3人で塗る色を分担して、交換しています。一人で塗るよりも断然効率がいいですね。



ここでも色で分担していますが、一気に1台の車を塗っています。これもいいですね。ただ、作業スペースとして狭いので、数分でやめていました。こうして工夫を重ね続けることが重要です。

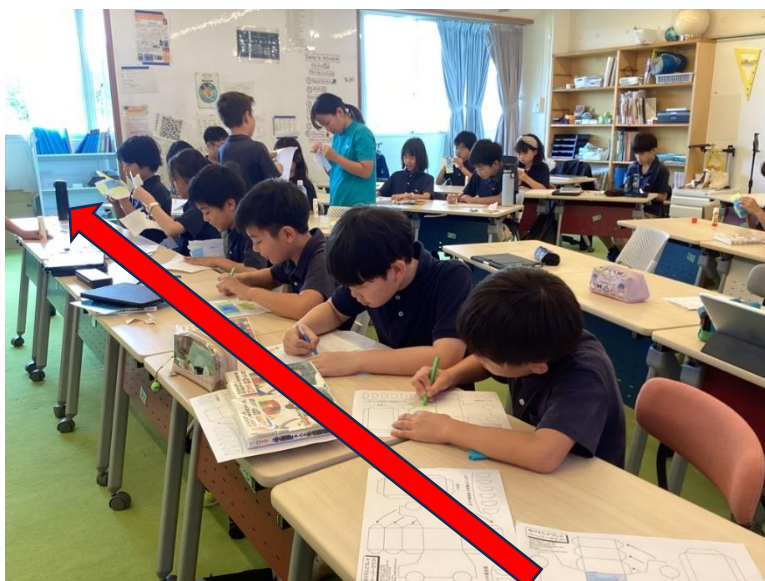


結果として、**40分**でできたのは**11台**。

これでは目標まではほど遠い。

もう1時間使うことにしました。

まずは、改善できるところを考えます。・もっと役割分担を明確にする・「はさみ貸して」は時間の無駄だから、はさみを持っている人が切ることにする



こうして一気に場が動きます。
生産ラインが自然と発生しました。いくら教科書で見ても、本物の工場を見たとしても本当の意味での理解はできないでしょう。
こうして手を動かし、工夫を重ねることで、理解するのだと思います。



自然発生的に「**検査**」の役割を担う子も出てきます。実際の工場でも厳しくチェックをしていましたね。
最初は、色塗りに時間がかかるのですが、切って貼る段階に進むと、一気に完成車量が増えてきて俄然盛り上がります。

最終的に108台を完成させました！

ペーパークラフトとはいえ、これだけ並ぶと圧巻です。



- ・社会で MITSUBATHI に送る車を作った。実際に車を作るときのイメージがよく浮かんだから良かったな~と思った。
- ・100台の車を作ることができた。あと、チームワークは大切だなということが分かった。
- ・役割分担をしないとめっちゃ時間がかかると分かりました。だけど楽しかったです。
- ・車を8個ほどぬって、大量生産してみんなで100個作った車たちを見て達成感がわいた。
- ・MITSUBATHI 会社を送るのが楽しみです笑
- ・アメリカからメールが来て100台作れと言われて1日で完成したから送ってよろこんでもらうのが楽しみです。(圧)(ネタ)
- ・けっこうみんな熱中しててすごかったなと思いました。MITSUBATHI ってどんな会社!?

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

